

令和7年度における文化芸術振興関連施策（実績）

山口県文化芸術振興条例に基づき、「やまぐち文化芸術振興プラン」に掲げる文化芸術の振興のための取組を推進し、多様な主体と連携しながら、本県の「文化力」の向上に努めた。

1 やまぐちの文化資源を活かした「文化観光」の推進

①【重点】多彩な文化資源を活かした交流の拡大

美術館等を核とした文化施設による交流の促進や、文化芸術とスポーツ・観光の連携、文化財の積極的な保存・活用等の取組の推進により、交流の拡大を図る。

■世界に誇る！文化ツーリズム推進事業の実施

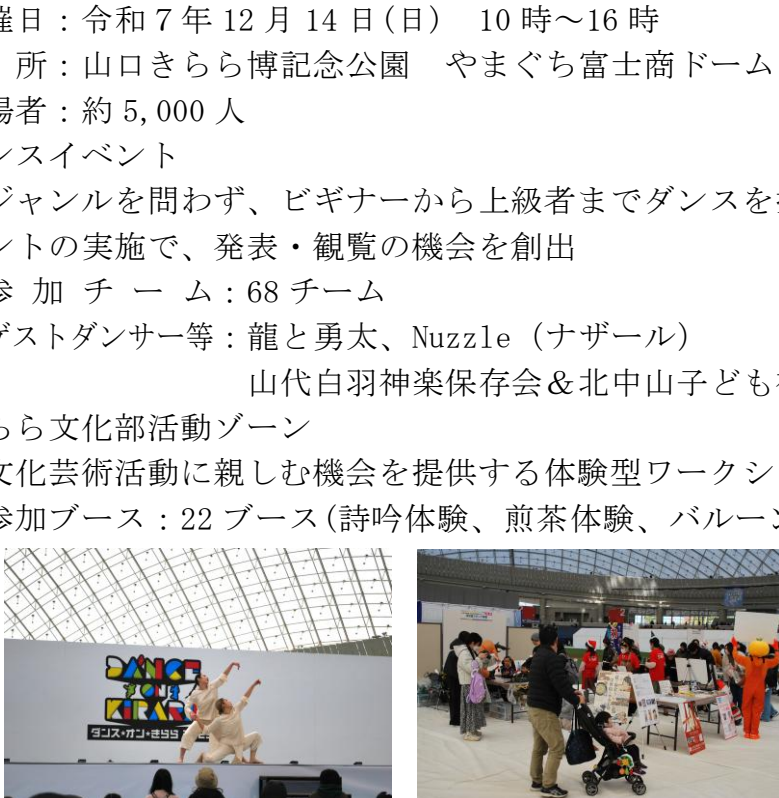
【決算額：17,100千円】

概要	令和8年に開催される山口デスティネーションキャンペーンの主要企画として、新たなコンテンツ実施と本県の代表的な文化財（瑠璃光寺五重塔、錦帯橋）を核に周辺の地域資源や文化の特色を生かした「周遊コース」の開発により文化の魅力を発信するとともに、地域の周遊促進や県内滞在時間の延伸を図る。	
内容	○新たなコンテンツの開発 下記コンテンツを開発し、プレDC期間中（R7.10～12）のモニターツアーにおいて実施	
	コンテンツ名	実施場所
	国宝・瑠璃光寺五重塔の秘仏を御開帳 静寂の特別拝観体験	山口市
	国宝特別拝観から始まる 地元ガイドと辿る山口の歴史散策	山口市
	厳かな能楽堂で時を刻む“山口驚流狂言”体験 -野田神社能楽堂-	山口市
	350年の橋を守る「橋守」がご案内 錦帯橋の魅力の深層に触れる限定ガイドツアー	岩国市
	人気の学芸員が紡ぐ 錦帯橋と岩国城下町の物語	岩国市
	ミシュランの星付き“武士文化の美術館”へ 館長が語る、武士の美意識と精神性	岩国市
	築城400年、岩国城の遺構をめぐる 関ヶ原から創建、破却までの歴史に思いを馳せる	岩国市
	なぜこの橋は美しいのか？ 1/5 模型づくり体験で実感する錦帯橋の構造と技術	岩国市

内 容	○モニターツアーの実施 （１）インフルエンサー招聘 観光客誘致を目的に、SNS等で高い発信力を持つインフルエンサーを招聘し、ツアー体験記やSNS投稿など多角的に発信 ・11月19日(水)岩国市、20日(木)山口市 （２）旅行会社等招聘 DC期間中の旅行商品造成を目的に、旅行会社を招聘 ・12月17日(水)山口市、18日(木)岩国市  ○広報素材の作成 ・旅行会社向けに上記コンテンツを冊子にしたタリフを作成 ・プロモーション用動画を制作し、Cul-tubeで公開
--------	---

■山口きらら文化芸術体験交流事業の実施

【決算額:12,049千円】

概要	若者層に関心の高いダンスイベントと県内の文化芸術団体等によるワークショップの併催による文化芸術体験交流イベント『ダンス☆オン☆きらら2025』を開催
内 容	開催日：令和7年12月14日(日) 10時～16時 場 所：山口きらら博記念公園 やまぐち富士商ドーム 来場者：約5,000人 ◇ダンスイベント ジャンルを問わず、ビギナーから上級者までダンスを披露するステージイベントの実施で、発表・観覧の機会を創出 ○参 加 チ ー ム：68チーム ○ゲストダンサー等：龍と勇太、Nuzzle（ナザール） 山代白羽神楽保存会&北中山子ども神楽 ◇きらら文化部活動ゾーン 文化芸術活動に親しむ機会を提供する体験型ワークショップ等の実施 ○参加ブース：22ブース(詩吟体験、煎茶体験、バルーンアート等) 

■「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の実施

【決算額：56,623 千円】

概要

本県の多彩な文化財を、これまでの保存活用にとどまらず、新たな観光素材として磨き上げ、最大限に活かすことで誘客の拡大を図り、「持続可能な文化財」による文化観光を推進

内容

◇「持続可能な文化財」の創出に向けた文化財磨き上げ事業

○活用計画に基づいた文化財の磨き上げ

・令和5年度及び6年度に作成した活用計画を、お試し体験会の実施等により改善し、モデル事例として、観光コンテンツを完成させた。

[モデル事業活用文化財（6事業者）]

	モデル事業活用文化財	所在地
1	玉椿旅館（国登録有形文化財）	下関市
2	菊屋家住宅（国指定重要文化財）	萩市
3	熊谷家住宅（国指定重要文化財）	萩市
4	旧毛利家本邸（国指定重要文化財）、毛利氏庭園（国指定名勝）	防府市
5	赤崎神社奉納芸能（県指定無形民俗文化財等）、赤崎神社楽伎敷（国指定重要有形民俗文化財）	長門市
6	柳井市古市金屋伝統的建造物群保存地区（国重要伝統的建造物群保存地区）	柳井市

○お試し体験会の実施

お試し体験会を実施することにより、利用者の声や課題等を把握し、活用計画の改善につなげた。







○新たな環境整備等への補助金による支援

○観光コンテンツ完成報告会の開催

令和8年3月18日（水）

於：山口県政資料館〔旧県会議事堂〕

事業概要の説明、完成コンテンツの紹介、モデル事業当事者等を交えてのクロストーク、文化庁文化観光コーディネーターによる講演等を行った。

○文化財の活用に必要な機能維持（修理、整備等）

対象：国指定文化財（瑠璃光寺五重塔ほか13件）及び県指定文化財（紙本墨画淡彩・湖亭春望図ほか1件）

◇文化財の情報発信・理解増進

○デジタルを活用した情報発信

○文化財を活用したふるさと学習の推進

学校対象の文化財講座：10校（494名）実施

■美術館を核とした地域連携プロジェクトの展開

【決算額：2,920千円】

概要	県立美術館 2館を核に、美術館魅力発信プロジェクトを展開
内 容	◇県立美術館 『HEART』（2月26日～3月15日）【参加者数 3,802人】 美術館と街とをつなぐアート・プロジェクトを地域交流イベントとして開催 ＜実施体制＞ミュージアム・タウン・ヤマグチ実行委員会 ○アーティスト交流企画 ・「世界に1羽だけの蝶」（2月28日） 美術作家・ハセガワタカシ氏による、無地の紙からオリジナルの蝶を制作・展示するワークショップを開催 ○山口市中心商店街の地域交流スペースを活用した企画 ・「田中米吉×ハセガワタカシ展－穴と視覚の自由／Dockingからの出発」 彫刻家・田中米吉氏と、アシスタントとしてその晩年の制作を支えてきた美術作家・ハセガワタカシ氏による二人展を開催 ○アート・マート・ギャラリー ・近年の山口県美術展覧会の受賞作家の作品をミュージアムショップで展示・販売 参加作家数 20人、出品数 313点 ◇萩美術館・浦上記念館 『ミュージアムタウン萩』（2月27日～3月15日）【参加者数 1,539人】 アートを活用した地域づくりやワークショップを介した交流促進を目的とした地域密着型イベント ＜実施体制＞萩美まちなか交流実行委員会 ○萩美術館・浦上記念館内イベント（3月7日） ・飴細工の実演 ・HAGIBI×お茶会 ・キーホルダーづくり ・風車をつくろう！ ・展覧会紹介コーナー ・きららガラス未来館制作体験教室（万華鏡・ボールペン） ○HAGIBI×てらまち 萩の旧城下町寺町地区に隣接する萩藩毛利家とゆかりが深い長寿寺と広雲寺にスポットを当て、大切に守り継がれてきた寺宝を紹介 ・トピック展示「長寿寺の寺宝－ルソン壺」（2月27日～3月15日） ・学芸員による美術講座「長寿寺のみほとけ」（3月7日） ・学芸員とウォーキングツアー in てらまち－長寿寺・広雲寺（3月8日）



■総合芸術文化祭（分野別フェスティバル）の開催

概要	音楽、文芸、生活文化等、多彩な分野にわたる文化団体による文化芸術活動の発表機会（コンクール、フェスティバル、展示会等）を設けるとともに、県民の文化芸術活動への参加を促進
内容	＜実施体制＞やまぐち文化プログラム実行委員会 開催時期：4月～3月（県内各地） 参加者数：24,238人

【分野別フェスティバル】

	行事名(主催者)	開催日	開催地等	参加者数(人)
1	山口県ダンスフェスティバル (山口県ボールルームダンス連盟)	4月27日(日)	サンワーク美祢(美祢市)	170
2	第32回山口県民謡発表会 (山口県民謡連盟)	6月29日(日)	防府市佐波公民館 (防府市)	45
3	第64回全日本吹奏楽コンクール山口県大会(山口県吹奏楽連盟)	7月26日(土)～28日(月) 8月1日(金)～3日(日)	下関市民会館(下関市) 山口市市民会館(山口市)	11,427
4	第80回合唱コンクール山口県大会 (山口県合唱連盟)	8月10日(日)	シンフォニア岩国(岩国市)	926
5	第43回山口県書道連盟展 (山口県書道連盟)	9月6日(土)～7日(日)	防府市地域交流センター アスピラート(防府市)	529
6	第73回山口県川柳大会 (山口県川柳協会)	9月21日(日)	萩市民会館(萩市)	110
7	第38回全日本マーチングコンテスト山口県大会(山口県マーチングバント連盟)	9月23日(火祝)	やまぐちリフレッシュパーク (山口市)	723
8	第55回山口県邦楽大会 (山口県邦楽連盟)	10月5日(日)	シンフォニア岩国(岩国市)	415
9	いけばな展 (山口県いけばな作家協会)	10月17日(金)～20日(月)	下関大丸(下関市)	2,528
10	第56回山口県母のコーラスフェスティバル (山口県母の合唱連盟)	10月19日(日)	周南市学び・交流プラザ (周南市)	373
11	山口県ダンスフェスティバル (山口県ボールルームダンス連盟)	11月2日(日)	サンウイング熊毛(周南市)	130
12	第62回山口県俳句大会 (山口県俳句作家協会)	11月9日(日)	周南学び・交流プラザ (周南市)	120
13	第64回山口県演劇祭 (山口県演劇協会)	11月15日(土)～16日(日)	宇部市福祉ふれあいセンター (宇部市)	248
14	第61回山口県歌人協会短歌大会 第26回やまぐち2025短歌大会 (山口県歌人協会)	11月23日(日)	防府市地域協働支援センター (防府市)	18
15	日本舞踊公演会 (日本舞踊協会山口県支部)	11月23日(日)	下関市民館(下関市)	1,080
16	第52回山口県芸術演奏会 (山口県音楽協会)	12月7日(日)	萩市民館(萩市)	314
17	山口県交響楽団創設70周年記念演奏会(山口県交響楽団)	12月14日(日)	山口市市民会館(山口市)	1,650

18	第49回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会（山口県管楽アンサンブル連盟）	12月14日（日）、25日（木）、26日（金）	不二輸送機ホール（山陽小野田市）	3, 131
19	山口県ハーモニカクラブ定期演奏交流会（山口県ハーモニカクラブ）	3月15日（日）	不二輸送機ホール（山陽小野田市）	301
			合計	24, 238

■その他の事業（「①【重点】多彩な文化資源を活かした交流の拡大」関係）

事業名等	事業の概要
アーティスト・イン・レジデンス事業 【秋吉台国際芸術村管理運営事業の一部】（文化振興課）	◆国内外の若手アーティストを秋吉台国際芸術村に受け入れ、創作活動の支援及び地域交流活動を実施（滞在者数5人）
東部地域文化振興（国際交流）事業 （文化振興課）	◆県東部地域において、国際交流の促進と地域文化の振興を図るため、国際交流の深化に資する文化芸術活動に対し助成を実施（実績件数：5件）
文化財の調査指導 【文化財調査指導費の一部】 （文化振興課）	◆文化財指定に係る調査、保存及び活用に係る指導 ・歴史資料「周防鋳銭司跡出土銭貨資料」を県指定有形文化財に指定 ・県選定保存技術に「檜皮葺」を選定し、「佐々木 真」氏を保持者に認定
世界遺産の保全活用、情報発信等 【文化財調査指導費及び「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の一部】 （文化振興課）	◆世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全・活用、情報発信及び「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組を実施 ・世界文化遺産の構成資産の修復・公開活用計画に基づく技術支援 ・「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による理解増進・情報発信の取組を実施（錦帯橋世界遺産セミナー2025等）
古地図を片手にまちを歩こう推進事業 【「万福の旅」山口DCプロモーション事業の一部】 （観光プロモーション推進室）	◆古地図を片手に城下町や宿場町などを散策し、往時の街道や町並み、人々の暮らしぶりを体感することのできるガイドウォークを県下全域（島根県益田市を含む39コース）で実施 ◆「こどもや子育てにやさしい休み方改革」に対応した「やさしいコース」の造成
フィルム・コミッションによる情報発信 【「おいでませ ふくの国、山口」プロモーション事業の一部】 （観光プロモーション推進室）	◆Webサイトを活用した情報発信 ◆全国、県内市町のフィルム・コミッションとの連携及び情報交換 ◆ロケ誘致活動、連絡調整等を行うロケーションコーディネーターの配置
外国文化講座等の開催 【山口県国際交流協会育成事業の一部】（国際課）	◆県内の外国人住民等を講師として外国の文化について紹介し交流する講座を開催 ・外国文化講座 等

児童生徒慶尚南道友好相互交流事業 （高校教育課）	◆交流体験を通じて、生徒の国際感覚を養うとともに、広い視野をもち、異文化を理解し尊重する態度を育成 ・慶尚南道から高校生訪問団を受け入れ、高校や文化施設等の訪問、「SDGs」に関する意見交換等を実施 開催日：10月28日（火）～10月31日（金） 受入人数：韓国慶尚南道高校生12名 ・両国の高校生によるオンライン交流
古文書講座・アーカイブズウィーク開催・歴史情報発信 【文書館運営費の一部】 （学校運営・施設整備室）	◆古文書講座（4講座） ◆アーカイブズウィークの開催 ◆文書館Webサイト、SNSを活用した歴史情報発信 ◆歴史講座の開催（2回） ◆文書館研究紀要、文書館ニュースの刊行（年1回）

②【重点】地域伝統芸能の振興

デジタル技術等を活用し、地域伝統芸能に親しむ機会の創出を図る。

■デジタル技術による地域伝統芸能に親しむ機会の創出

概要	令和4年度に制作した伝統芸能体験コンテンツを活用して、保存会と連携した普及活動の展開
内容	○伝統芸能体験コンテンツを県内3か所に設置 《設置場所》山口ふるさと伝承総合センター、シンフォニア岩国、ルネッサながと 

■地域伝統芸能全国大会の成果の継承・発展（文化財体験講座）【決算額：760千円】

概要	県内の無形民俗文化財及び無形文化財について、後継者・継承者の不在が課題となっていることから、後継者育成及び普及啓発を目的とした事業を実施し、次世代への継承を図る。
内容	○県内に所在する文化財指定（国・県・市町）の無形民俗文化財等の保存団体による実演体験を伴う講座及び公演を実施（上限100千円/事業） ・実演体験を伴う講座の実施 7団体 ・実演体験を伴う公演の実施 2団体

③ 【重点】「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組の推進

「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組を推進する。

■ 錦帯橋の登録に向けた取組の推進

【決算額：2,403 千円】

概要	「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」（県・岩国市・関係団体設置）において、県、市及び関係団体が連携・協働して行う施策等の円滑効果的な推進や、それぞれが実施する施策等の総合調整を図る。
内容	○錦帯橋世界遺産セミナー2025 - 趣 旨：若い世代に、錦帯橋が世界遺産として相応しい価値があることや、世界遺産登録に向けた取組を発信し、認知度向上を図った。 - 開催日：令和7年11月7日 - 会 場：山口大学 大学会館 - 内 容：プロローグ「錦帯橋の世界遺産登録に向けた取組について」 セッション1「観光誘客×錦帯橋」 セッション2「橋梁構造×錦帯橋」 ○大阪・関西万博でのPR - 開催日：令和7年6月10日～13日 - 会 場：EXPO メッセ「WASSE」（大阪・関西万博会場内） - 内 容：岩国市出展ブース内で、継手パズル体験やPRパネルなどにより錦帯橋の世界遺産登録に向けた取組等をPR ○やまぐちフラワーランド スプリングフェスタでのPR - 開催日：令和8年3月15日 - 会 場：やまぐちフラワーランド - 内 容：若いファミリー層に対し、錦帯橋の塗り絵やプラバンキーホルダーの作成を通して、錦帯橋の魅力等をPR ○パネル展示によるPR - 錦帯橋の価値や魅力を発信するため県内5か所でパネル展を実施 ○啓発資材の作製 - リーフレットの増刷 - PRキャラクターを用いた、若い世代の認知度向上を図る啓発資材の作製

④ 多彩な文化資源の国内外への情報発信

本県の文化芸術を国内外へ積極的に発信する取組を強化し、県内の文化芸術の魅力向上と、文化芸術を通じた交流人口の拡大を促進する。

■ デジタル技術を活用した文化資源の魅力向上・発信

【決算額：843 千円】

概要	県立の美術館の主な所蔵作品を多言語解説によりオンラインで国内外へ紹介し誘客を図るとともに、来館者には展示作品以外についても大型モニターで鑑賞できる環境を整備
内容	○やまぐちバーチャルアートミュージアムの運用 デジタル化した所蔵作品を「雪舟と雲谷派」や「浮世絵」など5つのテーマごとに展覧会形式で公開するオンライン美術館の公開（解説は英語、中国語、韓国語に対応） ○やまぐちデジタルギャラリーの運用 県立美術館2施設の所蔵作品を高精細デジタル画像で鑑賞できる大型モニターを両館に設置（解説は英語、中国語、韓国語に対応）

■ 情報誌やウェブサイト等を活用した文化芸術情報の発信

【決算額：2,137 千円】

概要	やまぐち文化プログラムのコンセプトに沿った文化施設での公演や文化イベント等を「協賛事業」として認証し、ロゴマークを付与するとともに、これを付与したイベントの情報をウェブページや情報誌を通じて一元的に発信
内容	協賛事業 213 件 情報発信 ○紙媒体：文化イベント情報誌「Cul-ちゃ やまぐち」 ・公立文化施設、県内観光案内所、道の駅、商業施設、金融機関、学校、県外を含む旅行会社や県内各地の宿泊施設への配布 年2回発行 8月(第17号)、3月(第18号) (各2万部) ○Web版：情報サイト「Cul-ちゃ やまぐち」 ・Webページの運営(令和7年度アクセス数合計：33,176件) ○自動翻訳機能を用いたホームページの多言語化 ・多言語対応(英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語・スペイン語・フランス語) ○文化動画配信(Cul-Tube YAMAGUCHI) ・やまぐち文化動画配信事業「Cul-Tube YAMAGUCHI」の文化パフォーマンス動画や美術館所蔵作品の解説動画等を紹介 動画本数 36本(令和2年5月下旬から動画配信を順次開始) 文化観光 1本(作成動画1本)＜令和7年度新規公開＞ 文化団体等 12本(作成動画6本、応募動画6本) 美術館動画 14本(作成動画7本、萩美祭等のイベント動画7本) 文化財関係 9本(文化観光講演会9本) 視聴回数 46,353回(令和2年5月～令和8年5月末までの全動画視聴回数)

■やまぐち文学回廊構想の推進

【決算額:131 千円】

概要	山口県の優れた文学資源を広く県内外にPRするため、「やまぐちの文学」や山口県ゆかりの文学者に関する情報を発信する。								
内容	◇「ふるさと文学ギャラリー」常設展・企画展(県立山口図書館との連携開催) ○常設展 ・「やまぐちの文学者たち」40人の作品等のパネル展示 ○企画展 <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展テーマ</th><th>開催期間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>氏原大作と大佛文乃</td><td>R7.4.1 ～ R7.8.28</td></tr> <tr> <td>やまぐちの文筆家たち</td><td>R7.8.30 ～ R8.1.18</td></tr> <tr> <td>宇野千代と雑誌「スタイル」</td><td>R8.3.3 ～ R8.4.29</td></tr> </tbody> </table> ◇情報発信 ○県政資料館におけるパネル展示 ・詩碑・歌碑・句碑・文学碑の写真・由来などを紹介 ○情報誌、Webページ等の充実 ・情報誌「Culーちゃ やまぐち」において、「やまぐち文学巡り」と題し、「やまぐちの文学者たち」を紹介。第17号（令和7年9月発行）では、嘉村磯多の紹介と各文学館等のイベント情報を紹介 ・Webページ「Culーちゃ やまぐち」において、各文学館等のイベント情報をPR ◇調査・研究事業 「やまぐちの文学者たち」に関連する資料の所在等の調査・研究を通じて、散逸や劣化が懸念される貴重な資料や、「やまぐちの文学者たち」の往時の様子の証言等を記録に残し、これまで知られていなかった「やまぐちの文学者たち」の新しい魅力を、インターネットなどにより、県民に広報する。 ○事前調査、資料の状況調査 ・県立大学郷土文学資料センター・県立山口図書館・中原中也記念館・山頭火ふるさと館・事務局で構成するワーキンググループによる対象の決定 ・令和7年度の調査対象は、宇野千代顕彰会、国際ソロプチミスト岩国所蔵の資料 ○現地調査 ・調査対象となった資料を現地で調査 ○整理・公表 ・対象資料の現物を調査した上で、デジタルアーカイブを作成し、後日展示予定 ○報告会（文学講座・文学散歩） ・令和7年12月13日、ルルサス防府にて報告会を開催（「防長文学」「山口県文学」の調査研究の成果を報告） ・文学散歩（ルルサス防府～山頭火ふるさと館文学碑巡り）を予定していた	企画展テーマ	開催期間	氏原大作と大佛文乃	R7.4.1 ～ R7.8.28	やまぐちの文筆家たち	R7.8.30 ～ R8.1.18	宇野千代と雑誌「スタイル」	R8.3.3 ～ R8.4.29
企画展テーマ	開催期間								
氏原大作と大佛文乃	R7.4.1 ～ R7.8.28								
やまぐちの文筆家たち	R7.8.30 ～ R8.1.18								
宇野千代と雑誌「スタイル」	R8.3.3 ～ R8.4.29								

内 容	が、雨天のため中止 ・山頭火のお宝紹介、山頭火ふるさと館見学 ◇会員のPR機会の創出 【実施体制】やまぐち文学回廊構想推進協議会（平成9年6月設立） 会長：中原 豊（中原中也記念館館長） 構成：本県ゆかりの文学者の顕彰団体・文学館10団体、関係8市、県 関係5機関・団体
--------	--

■国民文化祭への派遣

【決算額：133千円】

概 要	全国的な規模で文化活動を発表する場の提供等により、文化活動への参加意欲を喚起し、新しい芸能、文化の創造を促す。
内 容	○出演団体等に対する出演経費の補助 ・旅費及び楽器等の運搬費について1／2以内を予算の範囲内で補助 【開催地】長崎県（9月14日～11月30日） 山口県出演団体：山口県麻雀段位審査会、山口県かるた協会 大正琴アンサンブルバンドあかね 等

■中四国文化の集いへの派遣

【決算額：80千円】

概 要	中四国9県の文化交流を実施することにより、文化活動の発表機会の拡充と文化意識の一層の高揚を図る。また、地域の歴史と風土から生まれた伝統文化を受け継ぐとともに、地域文化の活性化と文化団体相互の交流促進を図る。
内 容	○出演団体に対する出演経費の補助 ・旅費及び楽器等の運搬費について1／2以内を予算の範囲内で補助 【開催地】香川県（11月23日） 山口県出演団体：大波野神舞保存会

■その他の事業（「④多彩な文化資源の国内外への情報発信」関係）

事業名等	事業の概要
県立文化施設における取組 【各県立文化施設の管理運営事業の一部】 （文化振興課） （学校運営・施設整備室）	◆情報誌の発行等 ・県立美術館：「天花」年2回発行 ・県立萩美術館・浦上記念館：「萩」年4回発行 ・県立山口博物館： 「山口県立山口博物館だより」年12回発行 「バーチャル山口博物館」の充実 ・シンフォニア岩国：「ひびき」年6回発行 ・秋吉台国際芸術村：「秋吉台国際芸術村通信-AIAV News-」年4回発行 ・ルネッサながと：「イベントラインナップ」年1回発行 ホームページ、SNSを活用した情報発信

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」インタープリテーションの推進 【文化財調査指導費及び「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の一部】 （文化振興課）	◆23の構成資産で効果的で一貫したインタープリテーション（理解増進・情報発信）の取組を実施 ・登録10周年記念シンポジウム（7月6日） ・登録10周年記念講演会（8月5日）県政資料館 ・インタープリテーション研修（10月7日、11月11日、12月16日） ・ガイド研修会（10月22日、23日） ・パネル展（6月30日～7月11日：県庁1階エントランスホール）
世界遺産の保全活用、情報発信等 【文化財調査指導費及び「持続可能な文化財」による文化観光推進事業の一部】 [再掲] （文化振興課）	◆世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の保全・活用、情報発信及び「錦帯橋」の世界文化遺産登録に向けた取組を実施 ・世界文化遺産の構成資産の修復・公開活用計画に基づく技術支援 ・「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」による理解増進・情報発信の取組を実施（錦帯橋世界遺産セミナー2025、大阪・関西万博でのPR等） ・「明治日本」管理保全研修会（1月16日）
ホームページ、SNSによる情報発信等 （文化振興課）	◆文化振興課ホームページ「やまぐちの若き芸術家たち」による情報発信 ・国内外で活躍する山口県ゆかりの若手芸術家の情報を収集し、活動を紹介 ◆SNSによる情報発信 ・情報の拡散性が高いSNSを活用し、幅広い世代に向けて、本県の旬な文化情報を発信
伝統工芸品情報発信等支援事業 （観光プロモーション推進室）	◆伝統的工芸品月間国民会議全国大会への出展 大阪・関西万博開催期間中に合わせて実施 伝統的工芸品月間国民会議、同地区大会、図画・作文コンクール等、全国規模の記念式典、各種催事等に参加 ・会 場：大阪・関西万博会場内（大阪府） ・開催日：令和7年8月5日～8月6日 令和7年8月22日～8月24日 ◆全国伝統的工芸品展 大都市圏における伝統的工芸品の普及並びに需要開拓を目的として、東京等で開催される伝統的工芸品展において展示・即売及び制作実演を実施 【関西】 ・会 場：阪急百貨店うめだ本店 ・開催日：令和7年9月10日～9月15日 【関東】 ・会 場：松屋銀座 ・開催日：令和8年2月18日～2月23日

《取組の評価》（「1 やまぐちの文化資源を活かした「文化観光」の推進」関係）

- 「世界に誇る！文化ツーリズム推進事業」において、令和8年に開催される山口デスティネーションキャンペーンの主要企画として、新たに8つのコンテンツを開発し、当該コンテンツをモニターツアーとして実施することで、本県文化の魅力発信につなげた。
- 山口きらら博記念公園において開催した文化芸術体験交流イベント『ダンス☆オン☆きらら2025』では、ダンスステージイベントにおいて、若者のダンスの発表や伝統芸能の披露を行い、さらに詩吟や煎茶などの文化芸術のワークショップを「部活動」の名称で併催することで、幅広い世代による文化芸術の交流を促進した。当日は約5,000人の来場があり、県民の文化芸術体験機会の創出につながった。
- 「持続可能な文化財」の創出に向けた文化財磨き上げ事業において、6つのモデル事例を造成することにより、文化財の新たな活用により得られた収益の一部を、将来の文化財修理に充てることで、文化財の「保存」と「活用」の好循環を生み出す仕組みづくりを進め、文化財の次世代への継承を促進するとともに地域経済の活性化につなげた。
- 美術館を核に周辺施設や商店街など地域と連携したアートイベントを実施し、美術館への誘客拡大や地域のにぎわいを創出した。
- 総合文化祭（分野別フェスティバル）には、昨年度に引き続き2万人を超える県民が参加し、幅広い文化芸術活動の機会を提供した。
- 錦帯橋の世界遺産登録に向け、学生を主な対象とした錦帯橋世界遺産セミナー2025や、若いファミリー層を対象としたぬり絵やプラバンキーホルダーの作成イベントなど、特にその取組の認知度が低い若い世代へのPRを行い、浸透を図った。
- デジタル化した美術館所蔵品を大型モニターで鑑賞できる「やまぐちデジタルギャラリー」の運用を継続し、デジタル技術を活用した美術館の魅力発信を行った。
- 文化イベント情報誌「Cu1-ちゃ やまぐち」の配布及び同誌Web版による多言語化、「やまぐちバーチャルアートミュージアム」やSNS等の活用により、本県が誇る多彩な文化資源の魅力を国内外に情報発信するとともに、文化芸術活動への県民参加を促進した。
- 今後とも、美術館等を核とした文化施策の推進、文化芸術とスポーツ・観光との連携、文化財の積極的な保存・活用など、多彩な文化資源を活かした取組を進め、交流の拡大を図る必要がある。